

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター
住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1
愛知県東大手庁舎 1階
TEL：052-954-6722
FAX：052-954-6993
開館：月～金 10～17時



ペンネーム みーちゃん 6歳

<表紙に掲載する子どもの描いた絵を募集しています>

あおぞらの表紙の絵を描いてみませんか？興味があればご連絡ください。

①絵のタイトル ②絵の説明（30字程度）③掲載するお名前 ④学年（年齢）⑤保護者の方の連絡先（氏名・メールアドレスまたは電話番号）を明記のうえ、メールまたはFAXにてお送りください。

<編集委員募集のお知らせ>

月に一度発行している「あおぞら」は、愛知県被災者支援センターのスタッフとボランティアの方がたで協力して発行しています。あなたも編集委員になってみませんか？

<発送作業のボランティア募集>

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？

12月10日便の予定			12月25日便の予定			お問合せ・お申込み 愛知県被災者支援センター TEL：052-954-6722（渡邊）
封入作業	12月7日（水）	午後	封入作業	12月20日（火）	午後	
発送作業	12月8日（木）	午前	発送作業	12月21日（水）	午前	

支援団体紹介（日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト（HAT-J））

日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト（HAT-J）は、山や自然を愛する人々が、山の自然環境保護について考え、自分たちのできることを実行していこうという特定非営利活動法人（NPO 法人）です。

本部（東京）では、2011年3月の東日本大震災の直後、田部井淳子代表（当時）の発案で、自然が人を癒す力を信じて、避難されている皆さんを自然の中にお誘いする活動などを『東北応援プロジェクト』として立ち上げました。

同年6月から、仮設住宅等に避難されている方たちをお誘いして、緑豊かな自然の中でハイキングを始めました。「久しぶりに大きな声で話ができ、うれしい」「つらい毎日だけど、明日からは元気に暮らせます」「気持ちが明るくなった」等、うれしい言葉をたくさんいただきました。

また、翌年7月には、これからのことを託す東北の高校生に日本一高い山・富士山に登って、勇気と元気をもらって前進してもらいたいと、63名の参加者で富士登山を実施して、以降毎年続けています。

2014年の春、各支部でも『できることで東北応援を！』とのことで、私ども東海支部では話し合い、『愛知県被災者センター』へうかがったのがきっかけで、この地域に避難されている方の状況を知り、活動を始めました。

当支部では隔月に清掃山行を行っています。それ以外に、山登りはできないけれど歩く程度なら、という会員向けに月1回、東山の森を中心に2時間ほどのハイキングをしていたので、



<落ち葉を踏みしめて>



<色付き始めた並木の中を歩く>

そこにお誘いしようということになりました。センターの協力のもと「里山を歩きましょう」と毎月チラシで呼びかけ、同年9月から始めました。

ちょうど2年間、10月で26回目の実施となります。町の中にある少しの空間ですが、その大自然の力はすばらしいの一言です。また、春には少し足を伸ばし五条川の桜並木の散策なども実施しました。

同じ場所でも、ひと月たてば木々の葉の色、空の様子、田んぼや草花など、季節のうつろいを感じ、驚かされます。今日も元気に歩いてよかった、と素直に心から感謝できます。当たり前前と思っていたことが、実は当たり前ではない感謝すべきことだと、深く気付きます。

参加された方のなかで、はじめて参加されたときは、あまり歩けなくて、小さい歩幅で歩いてみえた方が、3回目に参加の時はふつうに足を運んでいらっしまったので、本当にうれしく感動しました。

木や大空を見上げ、美しい草花やおいしい空気を胸一杯いただくことにより、身も心もやわらかく元気になります。このような大自然の偉大な恵み、力に感謝し、これからもご要望がある限り、喜んで続けてまいりたいと思っております。

これまで開催してきた全体交流会の代わりに、9月～11月にかけて6会場で「これからの暮らしをいっしょに考えよう」を開催しました。震災から5年以上が経過し、これからの暮らしについて迷われたり、現在抱えておられる悩みを、さまざまな専門家や行政職員に相談していただきました。

明るく振る舞っていますが…

夕食を作っているとき、仕事からの帰り道、ふとした瞬間に「これからどうなっていくのだろう」と不安になることはありませんか？

ある会場で最後に参加者の方が、「5年が経って自分も被災者なんだな、とようやく思い始めてきました」とお話しされたことが印象的でした。この方は、震災以来、積極的に活動されており、周りに元気を分けていました。今まで慌ただしく過ぎていた時間が、5年が経ったことでゆっくりになってきました。それにより考える時間が増えてきたのだと思います。今回、相談された方々が、人前ではなかなか出せない思いを伝えられ、少しでも生活を変えるための足がかりとなっただけでしたら幸いです。

岡崎さんぽ

徳川家康生誕の地である岡崎市。10月12日(水)には、お楽しみ企画として「岡崎さんぽ」を行ないました。葵武将隊の酒井忠次殿の案内で、江戸時代の暮らしを今に伝える石像の前を通り、あいちトリエンナーレに参加しました。好きな色の毛糸を手に取り、思い思いクモの糸のように結び付け、現代アートを体感しました。過去から現在への時間の流れを感じられるまち歩きは、参加者の皆さんにとって日常から離れるひとときになりましたでしょうか。

今、どんな毎日を過ごされていますか？明るく前向きに一歩ずつを踏み出している方、日々の生活をこなすことで精いっぱいの方。また、元気なときもあれば、そうでないときもあるかもしれません。以前読んだ小説にこんな言葉がありました。「一番つらいとき、苦しいとき、その原因になることは通り過ぎていたりするの。だから、怖がらなくていい」。心に少しの余裕が生まれるように、少しでも皆さんのお手伝いができるよう、これからも努めてまいります。

(愛知県被災者支援センター 榊原春香)

住宅の支援

福島県から避難されてきた「自主避難者」の方は、平成29年3月末で住宅の無償提供が終了となります。それに伴い、引き続き愛知県内の民間賃貸住宅などで避難生活を続けられる方を対象に、福島県が家賃補助を行います。せっかく制度を利用できるのに、「手続きがよくわからず、申請しなかった」とならないよう、福島県職員さんが相談対応をされました。

今回、住宅の探し方がわからない方、災害予測から安全な土地を選びたい方など、さまざまな相談にお応えしました。参加者と行政あるいは専門家が一緒になって住宅の物件を探すなど、今まで以上に具体的な支援をしています。

民間賃貸住宅等の家賃補助

平成29年3月末で住宅の無償提供が終了する自主避難者の方に対する福島県の補助制度です。10月15日ごろに愛知県被災者支援センターから詳しいご案内を郵送していますのでご確認ください。

この制度に関してご不明な点がある方は、下記までお問い合わせください。

【福島県民賃等補助金事務センター】

電話：0800-800-0218 (0261、0273)

(平日9時～17時)

会場で相談を担当してくださった方々をご紹介します。帰郷する方の相談や、転居、就職相談などさまざまな問題に対して丁寧に応えてくださっています。今後、また相談いただく際の参考にしていただけたらと思います。あらためて電話相談できるように、相談窓口を設けているところもあるのでぜひ活用してください。来年1月にも相談会を実施する予定です。

宮城県大阪事務所



<西田 香 氏>

先日、岡崎市の交流会に参加させていただきました。その和やかな雰囲気から、これまでの愛知県での避難者の方への関わりが感じられました。私もその雰囲気の中に参加させていただきお話をするなかで、避難者の方同士のつながりも作られてきたことがわかりました。今後も参加させていただき、宮城県へ帰郷する方のお手伝い、今の生活に必要な情報提供などをさせていただきたいと思います。どこかでお会いできたら、お気軽にお声かけください。

愛知共同住宅協会



<杉本 みさ紀 氏>

愛知共同住宅協会では、皆さんの「転居先探し」のお手伝いをします。転居先探しは、インターネットでの検索や、街の不動産屋さんへの相談から始めます。希望条件に合う物件がない場合、条件を緩和したり、優先順位を付けたりすることで、見つかることもあります。それでも悩まれる場合、当協会「見守り大家さんヘルプライン」(0120-279-083)に、ご相談ください。お手伝いします。

キャリアコンサルタント



<村上 浩子 氏>

キャリアと聞けば、キャリアウーマンという言葉がイメージされるように、仕事における能力やスキルに基づいた経歴と考えている方が多いと思います。それは「職業キャリア」と呼ばれるものです。

他方、それと区別して「ライフキャリア」という考え方があります。「ライフキャリア」とは、仕事だけではなく、社会体験やサークル活動、その他今まで生きてきた中で学んだこと、感じたこと、考えたこと、全てを指します。つまり、その人の歩んできた人生の中で身に付けてきたことすべてが「ライフキャリア」なのです。生き方すべてを指す場合もあります。ですから、たとえ就業経験がなくても、日常生活を送る中で、誰もが多くの「ライフキャリア」を身に付けているのです。

『これからの人生をどのように生きていくのか』『夢や思いを実現するにはどうすれば良いのか』という将来の人生設計であるライフプランニングは、まずそういった自分自身の「ライフキャリア」を自覚することから始まります。これを「キャリアの棚卸し」と呼びますが、キャリアコンサルタントとお話するなかで、ご自身の思いが整理でき、漠然とした不安が少しずつ具体化されてくると思います。そんなお手伝いができればと願っています。

愛知県臨床心理士会

相談会では皆さんの話をうかがったり一緒に交流の時間をもったり、という形で参加してまいりました。ご相談内容をここで書くことはできませんが、それぞれの方が直面して途方に暮れている問題を一緒に整理したり、取り組む優先順位を決めたりするとともに、ほっとひと息ついていただけよう心掛けてご相談をお受けしています。

困りごとや悩みは人によってそれぞれで、軽重はつけられません。人から見れば、些細なことでも、その人にとっては心にささったトゲとなることもあります。話してみても気づくこともあります。また、震災後5年以上、がんばってこられた皆さまですが、時には力が出にくいこともあるかもしれません。そのような時に、その方の元々持っているパワーを再発見するお手伝いもしたいと思います。

なお、相談内容については守秘義務があり、他に漏れることはありません。話しにくいと思われるようなことでも、ぜひ遠慮なさらずご利用ください。

コープあいちくらしの相談室



<河田 悦夫 氏>

コープあいちくらしの相談室は、主に組合員のくらしの困りごと相談窓口ですが、どなたでも相談いただけます。

これまで広域避難者の皆さんからも次のようなご相談がありました。「食の不安があり名古屋への引越を考えています。子育てや避難されている方との交流ができる場所を知りたい」「現在体調が思わしくありません。生協の商品を利用したい。また安心して暮らしたい」等々。コープあいちくらしの相談室は、これからも皆さんのご相談にお応えしていきます。電話番号（052-781-6176）

外国人ヘルプライン東海



<神田 すみれ 氏>

専門家への相談の際は、通訳を用意し、ご自分の母語で安心して相談ができるようにします。通訳だけではなく、紙面で届くお知らせや情報は、何が書いてあるのかを口頭で説明したり、翻訳をすることもあります。

外国人ならではの困りごとや情報提供、手続きのお手伝いもします。本国に送金しているが確定申告の際の扶養控除手続きに必要な書類は何か、在留資格や帰化に関する情報や手続き、暮らしている地域での日本語教室の情報提供等です。

知りたい情報があっても言葉の壁があるため、役所に問い合わせることができない方には、ご本人に代わって問い合わせをしたり、必要書類記入、申請手続き等を一緒にやったりもします。生活の中のどんなことでもご相談ください。一緒に一つひとつ解決していきましょう。電話番号（090-3968-5971）

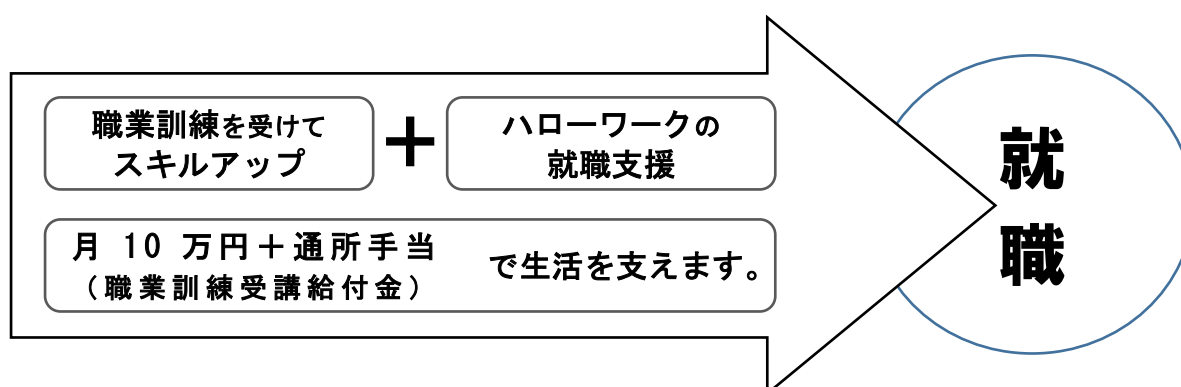
仕事を探している人への支援制度の紹介

**職業訓練を受けながら、
毎月 10 万円の給付を受けられる制度をご存知ですか！**

仕事を探しているけれど、経験や資格がないため仕事が見つからない。しかし、たくわえが少ないため、仕事をしなければ生活をしていけない。そのため、資格を取りに行く余裕がない。そんな時に使える制度があります。

例えば、

- 雇用保険に加入できなかった。
- 雇用保険の加入期間が足りないため給付が受けられないが、次の仕事が見つからない。
- 自営業を廃業したため、資格を取って仕事につきたい。
- 雇用保険の失業給付中に、新しい仕事を見つけることができなかった。
- 就職先が決まらないまま、学校を卒業した。



※ 職業訓練受講給付金を受給されても、それだけでは生活費が不足する場合は、希望に応じて労働金庫（ろうきん）の融資制度を利用することができます。貸付上限は、生計を一つにする配偶者等がいる場合は月 10 万円、それ以外は月 5 万円。（就職を理由とする返済の免除措置はありませんので、ご注意ください。）

職業訓練受講給付金を受けるには、

1. 支給要件
2. 必要書類 があります。

詳しくは、所在地を管轄するハローワークまでお問い合わせください。



愛知県内の
ハローワークは
こちらから



職業訓練の
コースは
こちらから



旬のお出かけ情報

～商店街 第4弾～ 街歩き編



街の「活気」や「昭和のような雰囲気」など、商店街ごとに違いのある雰囲気や街の取組みを感じてみませんか？さまざまなお店が集まった商店街の魅力を再発見して、地域の活性化につなげていきましょう。あなたに合ったお店が見つかるかもしれません。



PICK UP

藤が丘中央商店街

場所： 名古屋市名東区藤が丘 162

アクセス： 地下鉄東山線「藤が丘駅」下車すぐ

連絡先： 052-773-7711



藤が丘中央商店街は、名古屋市東部（名東区）に位置し、地下鉄東山線で名古屋駅から25分です。愛知高速リニモの始発駅でもあり、名古屋市と名古屋市東部の郊外地区を結ぶポイントで、東名高速道路名古屋インターからも2～3分程度と至近であり、県外からもアクセスしやすい広域交通の拠点です。

駅周辺の歩道には、約1,000本の桜が植えられ、桜の開花時には毎年恒例（4月第1土・日）の「さくらまつり」が大盛況です。

<愛知県内の商店街>

No	商店街名 (アクセス)	沿革	取組み
①	八事商店街（地下鉄八事駅すぐ）	八事周辺は高級住宅街やいくつもの大学を擁する街です。個々のイベントを「八事の森まつり」として統合。大きな集客力とPR力を備えると共に、地域の連携を深めることに成功しました。	八事五寸にんじん商品…八事の伝統野菜である「八事五寸にんじん」を活かし、こだわり抜いた商店街プロデュース商品です。地域のオリジナルブランドとして注目されています。
②	桜町本通り商店街（名鉄豊田市駅南東）	挙母神社の門前町で、江戸時代からの商業地として栄えた歴史があります。挙母神社参道という立地から人形屋、呉服店、卸問屋などが多く、特色ある商店街となっています。	八日朝市…挙母神社の八日市に合わせて毎月8日に開催する朝市で、商店街各店がワゴンセールを実施している。
③	大沼商店街（大沼発展会）（豊田市大沼町）	豊田市の中心部から東に約18km離れた中山間地域に位置し、地域の活性化のための街おこしイベントや史跡の整備などを積極的に行っています。	しもやま朝市…毎月第4日曜日に開催。地元の採れたて野菜や漬け物などが並び、地元の人をはじめ、観光客で賑わいをみせています。
④	とこなめ中央商店街（名鉄常滑駅から徒歩12分）	「やきものの散歩道」から「INAXミュージアム」をつなぐ途中に位置しています。商店街が地域活動の拠点となり、観光客や住民の交流の場を広げる取組みを行っています。	ガラガラ市…ガラガラの商店街にならないように、がんばる意味を込めてイベントを開催。地域の人や観光客で賑わっています。

●詳しい情報は各施設のホームページ等をお調べください。上記の情報は愛知県が発行した「あいちの商店街」という冊子をもとに作成しました。詳しい情報は右のQRコードからご確認いただけます。



ボランティアスタッフ紹介 ～ 大倉豊さん ～

支援センターのボランティアスタッフになった経緯や今の思いを紹介していきます。
第8回はコープあいち 東三河ブロック担当の大倉豊さんです。

2013年より毎年夏に豊橋市で開催している『相双地区夏祭り交流会』に参加してきました。今年は『ふくしま交流会』として、4回の準備実行委員会を経て、9月11日（日）に開催しました。大勢の皆さんの笑顔、閉会後の名残惜しそうな姿を見るにつけ、今年も皆さんにお会いできてよかったですなあと感じました。

支援協力というのは大変不遜な話で、実は皆さんから教わることの方がはるかに多いと感じています。「家族の絆」「地域愛」「人間力」…、数え上げればきりがありません。

被災された方の数だけ想いの数があると思います。これからもそういった皆さんにそっと寄り添っていきたいと思います。



支援センターからのお知らせ

<編集後記>

- ★東北から紅葉の便りが届きます。福島のこと、お話ししませんか？これまでのこと。これからのこと。(E.K)
- ★10月後半に南相馬市に行きました。新しい家が所々に建っていました。帰還された方か、他の地域から移転された方か、尋ねる時間はありませんでした。浪江町にも行きました。除染作業が盛んでした。(H.T)
- ★愛知淑徳大学のイベントに参加しました。震災後ずっと継続して企画していただいているので、子どもも皆さんに慣れていて、心の支えになっています。感謝しています。(Y.Y)
- ★身内の手術や受験など慌ただしい秋。病院や学校が整備された名古屋に感謝です。(T.N)
- ★チョコレート検定に合格しました。チョコレートを買う際にいろいろ気にするようになりました。(J.I)
- ★今日、従兄が亡くなりました。突然の知らせです。自分を知ってくれていた人がまた一人いなくなりました。脆弱なつながりがとても大切だったことをあらためて知りました。(H.I)
- ★近ごろ、美術館、映画館、ウォーキングとどこへ行ってもシニア世代が多い(そういう自分もその一員なのだけど)。総介護社会になる前に、そのエネルギーが社会に有効に活かされるといい。(K.T)
- ★最近震災関連記事がめっきり少なくなりました。それも仕方がないことだとは思いますが、風化させないよう語り継いでいくことが大事だと思います。(K.S)

- 12月のイベントの詳細は定期便に同封のチラシをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。

あおぞらに関する
ご意見ご感想はこちら



〒460-0001
名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎1階
愛知県被災者支援センター
TEL: 052-954-6722
FAX: 052-954-6993
Mail: aozora@aichi-shien.net